

【ご参考資料】

2015年6月11日

6月11日発表のニュージーランド政策金利の引き下げについて

政策金利を3.50%から3.25%に引き下げ

6月11日、ニュージーランド準備銀行（中央銀行）は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き下げ、3.25%にすることを決定しました。

市場では、一部で利下げ予想もあったものの、据え置き予想が過半を占めていました。利下げは約4年ぶりとなり、2014年に行なわれた計4回の利上げから、金融政策の方向が反転するかたちとなりました。

追加の利下げを示唆

同中銀は、利下げの理由について、インフレ圧力の弱さや経済成長の鈍化を挙げています。賃金上昇率やインフレ期待が低いことから、2015年1-3月期のインフレ率は0.1%と、同中銀の目標とする1~3%を下回っています。

こうした中、同中銀は「さらなる利下げが適切になる可能性がある」と、追加の金融緩和も示唆しました。同日に公表された金融政策報告書内での、同中銀の金利見通しから推測すると、来年にかけて追加利下げが行なわれた後、政策金利はしばらく据え置かれると見られます。

予想外の利下げと追加緩和の示唆を受け、6月11日午前8時頃の東京外国為替市場では、対米ドルで前日比1.8%程度、対円で同2.1%程度のニュージーランドドル安となっています。同中銀総裁が通貨高牽制を続けていることには注意が必要ですが、先進国の中で相対的に高い金利水準が、ニュージーランドドル相場の安定に寄与すると考えられます。

次回の金融政策決定会合は2015年7月23日の予定です。

以上

【図1】ニュージーランドの政策金利の推移

